

ちいきのたから 3月号



『楽しく学べる環境づくり』まずは 挨拶から!!

コミュニティ・スクールがスタートして6年。あどけない1年生だった子ども達は、大きく頼もしい6年生となり、もうすぐ卒業を迎えます。

「地域の宝」である子ども達を見守り続けたこの6年間。子ども達の豊かで健やかな成長を願い、話し合いを重ね、途中コロナ禍に翻弄されながらも、たくさんの地域の方々の温かいご支援をいただけてきました。

サポーターの皆様、町の先生、見守り隊や町内会の皆様、ご協力いただいた企業の皆様、すべての方々にこの場をお借りして、**心より感謝申し上げます。ありがとうございました。**

疾病、天災、戦争、犯罪また物価の高騰など…先が見えないこの時代に、子どもは明るい希望の光であり、大切な地域の宝です。子ども達の笑顔がいつまでも続きますように学校と力を合わせて、今できる事をコツコツと継続し、安全で楽しく学べる環境づくりに努めてまいります。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



今年度最終 第4回 学校運営協議会 開催 !!



- 2月14日(火)19時～
- 福岡小学校 会議室
- 委員15名中11名出席

【協議事項】

- ・2022年度学校評価の承認
- ・来年度委員選出について
- ・今年度の活動のまとめについて他



【話し合われた内容】

- ・コミュニティ・スクールのあり方もどんどん変化している。関わりの中で学校のニーズや子ども達の姿を通して、これからも必要な支援を行っていく。サポーターを増やして、長く続けられる活動にしていく。
- ・クロムブックの活用が進み、デジタル化が進む中、人とのふれあいなど子ども達にとって大切なアナログの部分とのベストミックスを探究していく。CSはアナログの部分で子ども達のコミュニケーション力を育てていく。
- ・挨拶を自分から元気にする子が増えてきた。地域でも卒業生が挨拶してくれる。これはCSの成果でもある。挨拶は基本であり、CSの役目でもある。
- ・学校評価では、自己肯定感がアップしていて嬉しい。自分の考えをしっかり伝えられるようになってほしい。いろいろな場面で自分で物事を見極め、選ぶ力をつけてほしい。
- ・コロナが収束していく中で、子ども達にはのびのびとした本来の姿を取り戻してほしい。そのお手伝いをしていきたい。生きていく上で人との関わりは不可欠で、地域の多様な方々とのふれあいは必要だと感じている。